



ごみ減量・リサイクル通信

発行 青梅市環境部清掃リサイクル課

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1 ☎0428-22-1111

ごみの減量にご協力ください!

青梅市の令和元年度の総ごみ量は36,950トン、燃やすごみは27,265トンでした。平成30年度は総ごみ量36,458トン、燃やすごみは26,994トンでしたので、令和元年度は平成30年度と比較し、総ごみ量が492トン、燃やすごみが271トン増加しました。

令和元年度の1人1日あたりの総ごみ量は757.5g、燃やすごみは558.9gでした。平成30年は総ごみ量が743.7g、燃やすごみが550.6gでしたので、令和元年度は平成30年度と比較し、総ごみ量が13.8g、燃やすごみが8.3g増加しました。

また、ごみ全体に占める種類別の割合は、燃やすごみが約74%、資源ごみが約15%、その他約11%となっています。ごみ量の約74%を占める燃やすごみの減量がごみ量削減のポイントです。

燃やすごみを減らすために有効な取り組みとしては、生ごみの水切り、食品ロスの削減、紙類の分別があります。

ごみを減らすためには、一人ひとりの行動が大切です。ごみの減量にご協力をお願いします。

●ごみ収集実績

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
燃やすごみ	27,027 t	26,994 t	27,265 t
燃やさないごみ	1,305 t	1,033 t	1,058 t
容器包装プラスチックごみ	1,542 t	1,585 t	1,608 t
粗大ごみ	1,408 t	1,418 t	1,526 t
資源ごみ	5,464 t	5,428 t	5,493 t
総ごみ量	36,746 t	36,458 t	36,950 t

※有害ごみは、燃やさないごみ・容器包装プラスチックごみに含まれる。

●1人1日あたりのごみ量の推移

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
燃やすごみ	560.2 g	548.9 g	547.3 g	550.6 g	558.9 g
総ごみ量	761.4 g	747.0 g	744.1 g	743.7 g	757.5 g

燃やすごみを減らすために有効な取り組み

1 生ごみの水切り

生ごみには多くの水分が含まれており、その水分が重さや臭いの原因になっています。水分を少しでも減らすことで、嫌な臭いやごみを減らすことができます。



- 三角コーナーのネットに入った生ごみは、ネットごとひとしぼりしてから捨てる。
- 野菜の皮などは、水に濡らさずに乾かしてから捨てる。
- お茶がらやティーパックは、新聞紙などの上に置き乾かしてから捨てる。

2 食品ロスの削減

食品ロスとは、食べられるのに捨てられている食べ物のことです。

食品は貴重な資源です。食品ロスを減らしましょう。

- 買い物の前に冷蔵庫の中身を確認し必要なものだけ購入する。
- 買った食材を残さず使いきる。
- 調理の際は、食べきれぬ量だけ作る。
- 家庭で使いきることが出来ない食品をフードドライブへ持って行く。※フードドライブの詳細についてはP2に掲載。

3 紙類の分別

燃やすごみの中に資源ごみとして出せる紙類が混入していることが多く見られます。紙類は大切な資源となりますので、分別を徹底し雑誌・雑紙として出してください。

ごみを減らすことによるメリット

• 環境負荷の低減

ごみの収集や処理をする過程では多くの温室効果ガスが発生します。ごみの量を減らすことにより、温室効果ガスの発生を抑制し、環境負荷を軽減できます。



• 処理費用の削減

ごみの収集や処理には多額の費用がかかりますが、ごみの量を減らすことにより処理等にかかる費用を削減することができます。

ごみを減らすための主な取り組み例

できることから実践してください。

- マイバックの持参やマイボトルを利用する。
- 使い捨ての割り箸、スプーンなどを断る。
- 過剰包装を断る。
- 洗剤、シャンプー、調味料などは詰め替え可能な商品を選択する。
- 商品を購入する場合は丈夫で長持ちしそうな商品を選択する。
- ティッシュペーパーをふきんの代わりに使わない。
- 一時的に必要な物はレンタルを利用する。
- 修理して使える物は直して使う。
- 不要になった衣服などを人に譲る。
- リサイクルショップやフリーマーケット、フリマアプリ等を利用する。
- リサイクルされた商品を購入する。
- 汚れているプラスチック容器は、そのまま燃やすごみではなく、水ですすいで容器包装プラスチックごみで排出する。
- ダンボールコンポストや生ごみ処理機を利用し、生ごみをたい肥化する。
※ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用して生ごみ処理をする容器のことです。



令和2年度 小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進作品コンクール

キャッチフレーズ部門最優秀賞

『いってきます わすれず持ってね エコバック』

堂下 萌衣 さん (第三小4年生)



青梅市ではフードドライブを通年で実施しています！

ご家庭で使い切れない食品を捨ててしまいませんか。

日本では、年間612万トン（農林水産省：平成29年推計値）の食べ物が食品ロスとして廃棄されています。

青梅市では、食料資源を有効活用し食品ロスを減らす取り組みとしてフードドライブを実施しており、令和2年7月15日から通年で受付に変更しました。

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄付する活動のことです。ご家庭で使い切れない食品がありましたら、条件等をご確認の上、清掃リサイクル課までお持ちください。

受付場所

市役所5階清掃リサイクル課窓口

受付日時

月～金曜日の午前8時30分から午後5時まで
(祝日、年末年始を除く。)

フードドライブ実施状況		
年 度	延べ人数	回収量
平成30年度	116人	302.5kg
令和元年度	82人	203.9kg
令和2年度 (2月1日現在)	88人	322.9kg



対象となる主な食品

- 缶詰（肉、魚、野菜、果物など）
- インスタント食品
- レトルト食品
- フリーズドライ食品
- 嗜好品（お菓子、インスタントコーヒー、お茶パックなど）
- 乾物（パスタ、そうめん、うどん、蕎麦、海藻など）
- 乳幼児食品
- 調味料
- 飲料（アルコール類は除く）
- お米（国産米で精米から2年以内のもの）



集める食品の条件

次のすべての条件を満たすもの

- 未開封のもの
- 包装や外装を破損していないもの
- 賞味期限が明記されていて、持参日から期限まで1か月以上あるもの（塩、砂糖、米は除く）
- びん詰め食品ではないもの
- 生鮮食品、冷凍、冷蔵食品ではないもの
- アルコール類ではないもの



注意事項

受け取りの際に、賞味期限等を確認させていただきます。お持ちいただいた食品の種類や状態によっては、お持ち帰りいただく場合があります。

その他

お持ちいただいた食品はフードバンク青梅へ寄付しています。

フードバンク青梅

「フードバンク」とは、包装の破損・在庫過剰・印字ミスなどの理由で流通に出すことができない食品や、まだ安全に食べられるのに捨てられてしまう食品を、企業などから寄贈していただき、食べ物に困っている方や福祉施設に届ける活動です。

青梅市友田町を拠点に活動しているフードバンク青梅では、寄贈を受けた食材を市内の子ども食堂や児童福祉施設等へ提供する活動を通じて、子供たちの成長を支援するとともに、食品ロスの削減に貢献しています。

問合せ フードバンク青梅 0428-78-3304（活動日：毎週水曜日）

青梅市リサイクル推進協力店募集！

ごみ減量およびリサイクル活動を積極的に取り組む市内の小売店舗を「青梅市リサイクル推進協力店」として指定することにより、ごみ減量と再資源化の推進を図り、資源循環型のまちづくりを目指すことを目的としています。青梅市では、リサイクル推進協力店を募集しています。

対 象

リサイクル推進協力店は、次の事項のうち、2つ以上を実施する小売店舗が対象となります。

- ・ペットボトルの回収
- ・発泡スチロールトレイの回収
- ・牛乳パックの回収
- ・ビンの回収
- ・カンの回収
- ・買物袋の持参奨励
- ・簡易包装の推進
- ・使い捨て容器の使用自粛
- ・エコマーク、グリーンマーク商品の販売促進
- ・生ごみ処理機器等の販売
- ・広告、チラシの再生紙の使用
- ・中古品の下取り、引取り
- ・事業ごみのリサイクルの推進
- ・その他、市長が認めるごみ減量・リサイクルに関する事業



現在の登録店舗

現在、15店舗がリサイクル推進協力店として登録されています。お買い物の際には、リサイクル推進協力店をぜひご利用ください。

店 舗 名	住 所
釜屋	本町123
釜屋新町営業所	新町3-8-8
カワスギ陶器店	本町139
志村電設	東青梅4-2-3
生活協同組合ヨロズみらい ヨロズ青梅新町店	新町2-3-1
成電社	東青梅5-20-3
セイントニコラス	河辺町10-10-3
TAIRAYA吉野店	梅郷5-1111
高野商店	沢井2-914
でんきのAmi	野上町4-9-6
でんきのえんどう	二俣尾4-956-4
マルフジ千ヶ瀬店	千ヶ瀬町3-400
マルフジ東青梅店	東青梅2-14-2
八百誠商店	裏宿町626
リカーステーションおかざき	森下町498

申し込み方法

申し込みは、市ホームページよりリサイクル推進協力店申込書をダウンロードし、市役所5階清掃リサイクル課へ提出してください。

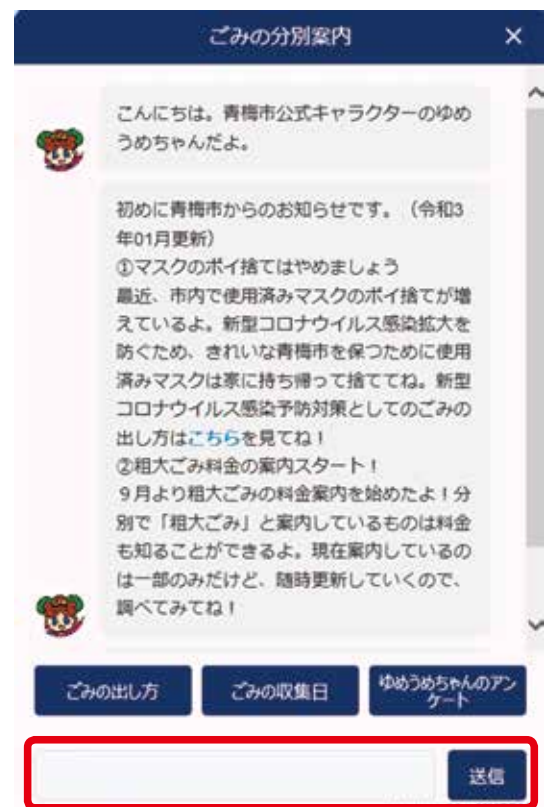


分別に困ったら AIチャットボットを 活用しましょう！



QRコード

青梅市では24時間いつでもごみの分別について問合せできる「AIチャットボットによるごみの分別案内」を実施しています。青梅市公式キャラクターである「ゆめうめちゃん」がごみの分別案内をしてくれますので、パソコンおよびスマートフォンから市ホームページにアクセスしていただき、是非ご利用ください。（通信料がかかりますので、ご了承ください。）※下の画像はイメージです。



★ご利用方法★

「ゆめうめちゃん」を選択してください。

- ①市ホームページから「AIチャットボットによるごみの分別案内」などのページを開きます。
- ②画面右下に「ゆめうめちゃん」が出てきます。選択すると、チャットボット画面が立ち上がります。
- ③テキスト入力欄に出したいごみの名前を入れ、送信ボタンを押すと、ゆめうめちゃんがごみの分別案内をします。

チャットボット画面が立ち上がったら、メッセージ入力欄に出したいごみの名前を入力して、送信ボタンを押してください。

★分別のほかにも、粗大ごみ料金やごみの出し方、収集日も案内しております！また、『クイズ』と入力すると「ゆめうめちゃん」に関することなどのクイズがランダムで出題されます。また、『おはよう』などのごみの出し方以外にも返答があるかもしれませんので、試してみてください。



AIチャットボットとは…

AI（人工知能）を活用し、スマートフォンやパソコンでチャットを介した対話形式で自動応答する会話ロボット。人がテキストを入力して話しかけると、人が返答するようにAIが返答します。

AIチャットボットの問合せ分野拡大について

現在青梅市では、AIチャットボットの問合せ分野について、ごみ以外での活用拡大の検討を進めています。今後問合せ分野が増えた場合、掲載しているホームページやチャットボット画面の画像はレイアウト等変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

AIチャットボット上の分別問合せ上位 (2020年11月～2021年2月集計)

- 「電池」127件 ⇒分別は「有害ごみ」です。
セロハンテープなどで絶縁してから、透明または半透明の袋に入れて出してください。
- 「靴」104件 ⇒分別は「繊維類」です。
透明または半透明の袋に入れて出してください。汚れや傷みがひどいもの、濡れているもの、片足しかないものは「燃やすごみ」として指定収集袋に入れて出してください。
- 「発泡スチロール」99件 ⇒分別は「容器包装プラスチックごみ」です。
指定収集袋に入れて出してください。
汚れているものは「燃やすごみ」として指定収集袋に入れて出してください。
- 「ペン類」86件 ⇒分別は「燃やさないごみ」です。
指定収集袋に入れて出してください。
ボールペンの替え芯、シャープペンシルの芯は「燃やすごみ」として指定収集袋に入れて出してください。

青梅市のごみ処理費用は？

令和元年度 ごみ処理経費(歳出)の内訳

令和元年度ごみ処理経費(歳入)

○ごみ処理手数料
(指定収集袋手数料など)
4億8,183万円

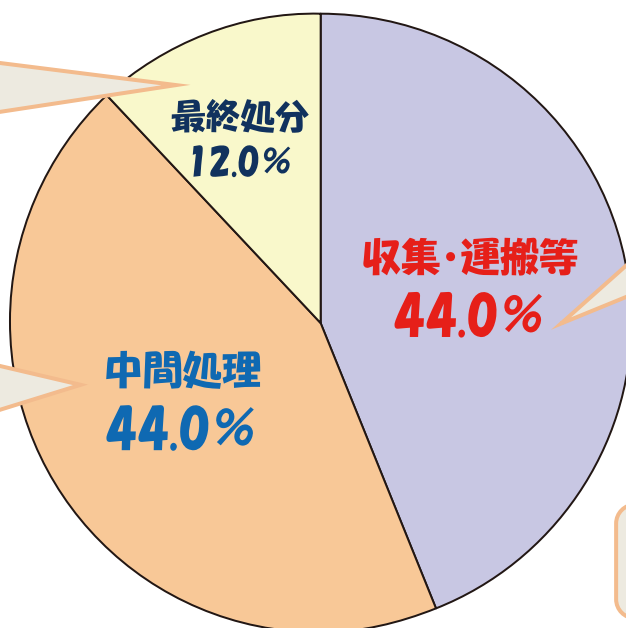
※指定収集袋手数料とは、皆さんがごみを捨てる際に購入している、ごみ袋の料金です。

3億2,809万円

- 東京たま広域資源循環組合(最終処分場)負担金 3億1,815万円
- 有害ごみ対策経費 994万円

11億9,893万円

- 西多摩衛生組合(焼却施設)負担金 7億8,953万円
- リサイクルセンター管理・施設整備経費等(燃やさないごみや容器包装プラスチックごみの選別処理など) 4億0,940万円



12億0,062万円

- 収集・運搬委託料等 10億2,617万円
- 廃棄物対策費(資源回収、ごみ収集カレンダー、施設見学会、ごみ情報誌発行等のごみ減量対策費など) 1億7,445万円

合計 27億2,764万円

令和元年度の青梅市におけるごみ処理経費は27億2,764万円かかっており、一般会計(歳出)に占める割合は5.3%です。

**市民1人あたり年間
20,465円**

**1世帯あたり年間
42,973円**

**ごみ1kgあたりの経費
74円**

資源物の回収にご協力ください!

資源ごみは市の資源ごみ回収日または地域の集団回収に出してください。

新聞・折込チラシ

新聞と折込チラシは一緒にひもで束ねて出してください。
※雨の日でも出せます。ビニール袋には入れないでください。

雑誌・雑紙

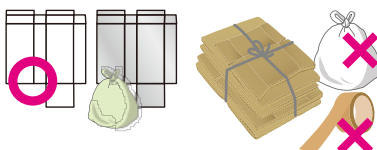
ひもで束ねるか紙袋に入れて出してください。
紙袋で出す場合も、紙袋の口が開かないようひもでしばって出してください。
※雨の日でも出せます。ビニール袋には入れないでください。



雑誌・雑紙として出せるもの	燃やすごみとして出すもの
雑誌、書籍、菓子や食料品等の紙箱、画用紙・習字の半紙(絵の具や墨がついていても可) チラシ、パンフレット、プリント類、封筒(窓のビニール部分は燃やすごみへ) 紙袋、カレンダー、ポスター、包装紙、ラップ・トイレトペーパーの芯、ティッシュの紙箱(口のビニール部分は容器包装プラスチックごみへ) メモ用紙、名刺、シュレッターくず	圧着はがき、粘着物・粘着剤の付着した紙(宅配伝票など)、石鹸・洗剤・線香などのおいのついた紙、感熱紙、カーボン紙、ノーカーボン紙、コーティング紙、ワックス等で防水加工された紙(紙製のヨーグルト容器など)、写真、使い終わったティッシュペーパーやペーパータオル、レシート、汚れた紙、金・銀箔のついた紙、和紙など

ダンボール・飲料用紙パック

ダンボールはひもで束ねて、飲料用紙パックは洗って乾かし切り開いてから、ひもで束ねて出してください。
※雨の日でも出せます。ビニール袋には入れないでください。
・ガムテープは使わず、品目別にひもで束ねてください。
・中にアルミが貼ってある紙パックは燃やすごみで出してください。



繊維類(繊維・かばん・靴・ベルト・ぬいぐるみ)

種類ごとに分けて、透明または半透明の袋に入れて出してください。
※繊維類の注意事項
・ファスナーやボタンはそのまま出してください。
・汚れや傷みがひどいもの、濡れているもの、片足のみの靴は回収できませんので燃やすごみとして出してください。
・繊維類は雨にぬれると資源化できないため、雨の日でも回収は行いますが、なるべく出さないよう、ご協力をお願いします。



種類	回収できるもの(例)	回収できないもの(例)
繊維	古着、革製の衣類、タオル、カーテン、シーツ、毛布	布団、じゅうたん⇒粗大ごみへ 綿が入っているもの、下着、靴下、汚れているもの⇒燃やすごみへ
かばん	革・布・エナメル製品、ウエストバック、ハンドバック、ベルトポーチ、リュックサック等	ハードケース、スーツケース、車輪の付いたバッグ、ゴルフバッグ、ランドセル、保冷バッグ⇒粗大ごみなどへ
靴	革・布・エナメル・ゴム製品、ショートブーツまでの長さの靴、靴ひもの取れた靴	長靴、スリッパ、スパイク、登山靴、ハーフブーツ以上の長さの靴、安全靴、片足のみの靴⇒燃やすごみへ
ベルト	革・布・エナメル製品	おもちゃのベルト(プラスチック製)⇒燃やさないごみへ
ぬいぐるみ	50cm未満のもの	50cm以上のもの⇒粗大ごみへ

資源ごみの集団回収

地域の自治会、こども会、PTA等の各団体が集団回収を行っています。

集団回収は、ごみの減量や資源の有効利用を推進し、地域コミュニティづくりや物を大切にすることを育てることに役立っています。また、集団回収を実施した各団体には、回収量に応じた報償金が市から交付され、各団体の活動費になっています。資源物は地域の集団回収に出すようご協力をお願いします。(報償金の単価は表のとおりです。)

なお、集団回収の実施日や回収している資源物は、各団体で異なりますので、それぞれの団体にご確認ください。

また、新たに集団回収を行いたい団体は、一定の条件を満たせば行うことができますので、清掃リサイクル課へお問い合わせください。



品目	単価(1kgあたり)
新聞	9円
雑誌・雑紙	13円
紙パック	13円
ダンボール	11円
繊維類	11円
くず鉄類	8円
アルミ	20円
1.8Lびん	16円
ビールびん(大びん)	16円
その他のびん	15円